

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)シーサイドもちろ開発計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40			3.1
1 音環境						3.4	0.15	3.3	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						5.0	0.40	3.9	0.40	
1 開口部遮音性能		T-2以上				5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						-	-	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		宿)Lr-40				-	-	5.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		宿)Lr-50				-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						2.8	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御						3.4	0.50	3.8	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		断熱性能の高い建材の採用				5.0	0.25	5.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.1	0.25	2.8	1.00	2.9
3.1 昼光利用						4.1	0.34	2.4	0.30	
1 昼光率		共)U≥2.5%以上				5.0	0.56	2.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.44	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						2.0	0.28	3.0	0.30	
1 昼光制御						2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.14	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.24	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.5	0.25	3.2	1.00	3.4
4.1 発生源対策						3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気						3.5	0.30	3.6	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		外気取り入れ口と各排気口の十分な隔離				4.0	0.50	5.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		非喫煙者が煙に曝されない対策				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.4
1 機能性						3.0	0.40	4.3	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	4.5	0.60	
1 広さ・収納性		宿)ツイン32㎡以上				-	-	4.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応		宿)Gbitクラスのブロードバンド利用可能				-	-	5.0	0.50	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観		宿)天井高2.8m				-	-	5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.9	0.30	-	-	3.9
2.1 耐震・免震・制震・制振						4.6	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		基準法の50%増の耐震性を確保				5.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		ガルバリウム鋼板やステンレス鋼板を採用				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水(VLP):B、排水(VP):B、冷媒(CU):C、給湯(SUS):C				4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		災害時における重要度に応じた運転計画等				5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		通信手段の多様化、浸水対策、災害情報の入手				4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			-	-	2.8	0.50	
1	階高のゆとり		-	-	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	宿)壁長さ比率0.3未満	-	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑地による良好な景観形成	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m] = 0.80	5.0	0.19	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.75	3.9	0.50	-	-	3.9
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水		主要水栓等に加えて省水型機器を過半以上に採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	再生水の利用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.2	0.60	-	-	4.2
2.1	材料使用量の削減	F=325以上の鉄骨、BCP柱、ハイベースNEOの採用等	4.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントB種を使用	5.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート、カーペット、エコ点字タイル	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能な構造	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	GWP値の低い断熱材の採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2の低減に配慮	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪駐車スペース、荷捌き用駐車施設の確保、出入口への配慮	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	